

## 株式会社呉松

製造業（建設資材）

平成24年度 ものづくり技術 試作開発・設備投資  
H24拡大する人工木建材の需要取り込みへ  
新構造の高機能、高品質製品を投入

二層式人工木材の押出成型機

## 会社の概要

当社は地元飲食店向けの業務用食品卸会社としてスタートし、病院内の売店経営や氷見うどんの販売代理店なども展開していた。平成17年頃に大手金属系建材メーカーからの依頼を受けて、ウッドデッキを中心とする建材の設計、施工管理を主業務とし、その後、射水市内の工場での加工販売も始めた。

平成20年頃、首都圏のマンションや保育所、小・中学校、高齢者向け福祉施設などの建設に携わる中で、バリアフリーのフラットサッシの採

用が進み、室内外の一体化を図って、バルコニーに人工木材のウッドデッキを設置する施工例がみられるようになったことに着目。人工木材および人工木ウッドデッキの開発、製造に乗り出した。

木粉と再生樹脂を独自に配合して成型した再生複合材（人工木材）を使い、独自構造のウッドデッキを開発。取り換えやメンテナンスがしやすいように、一枚ずつ取り外すことができ、コインや枯れ葉が隙間から落下しない構造、かつ排水機能を備えた。いずれも業界に先駆けた機能的な構造で、平成21年に特許を取得

し、翌22年より本格的に市場に投入。自社で設計から製品の生産、供給、施工管理まで一貫して対応できる強みを生かして、取引先の多様なニーズに応えながら、実績を伸ばしてきた。フェンスやルーバーなども展開しており、全国各地の学校や保育所、公共施設などに採用されている。

## 補助金事業の内容

天然木に比べてメンテナンスに手間がかからない人工木材は、ささくれやひび割れの心配が少なく、安心・安全に使用できる。また、変色や変形など経年劣化のスピードも緩やかであり、原材料は再生樹脂や間伐材を多く使用しているため、環境にもやさしいといった利点がある。エクステリア、建築外装用の化粧材向けとして採用が増えており、特に人工木ウッドデッキは公園や屋上緑化対策などでの設置が増えている。

特許製品のウッドデッキを中心に展開する中で、着実に需要を取り込んでいくためには、より高性能で高品質な新製品の開発、そして、多用途に対応していくための多種多様な形状の提案が必要であり、加えて、価格面でも安価な海外産製品と対抗できるような製品づくりが欠かせないと考えた。平成24年度の補助金を申請し、従来の単層式から二層式構造の人工木材製品の開発を行った。



ルーバーの施工例

会社データ

創業 平成9年1月  
設立 平成9年8月  
代表 呉松 一豊  
所在地 (本社) 高岡市上黒田278-1  
(工場) 射水市北高木122-1  
TEL/FAX TEL:0766-23-0948 FAX:0766-26-5003  
U R L http://www.artcompwood.com/  
資本金 1,000万円  
従業員数 11人  
取扱製品 人工木建材、アルミ製建築資材

## 補助金事業の成果

人工木材は樹脂が含まれているため、日当たりや気温によって伸縮する性質があるが、二層式構造にすることで、耐候性、耐久性が向上し、退色や水染みが従来品より抑えられるようになった。また、色味のばらつきが少なくなり、製品としての品質向上が図られた。

複数の金型を導入したことで多様な形状の人工木材製品の提案、製造が可能になった。併せて、工場の生産体制を整備して、生産能力の向上と効率化を進めた。

新しい技術と生産体制の確立により、新たな引き合いも増えたほか、資金調達に際して信用が高まるといった成果もあった。

## 今後の展望

ウッドデッキでは、さらに隙間を狭くして安全性と意匠性を備えた新製

品を市場投入するほか、帯電防止や遮熱性能に優れた高機能な製品や、吸水率の少ない原料を使った新たな人工木材の開発にも力を注いでいる。大手建材メーカー並みのボリュームで新たなカタログを作成し、取引実績のある設計事務所や建築コンサルタントなどへ積極的に提案営業していく。

これまででは工事を伴う物件受注を中心としていたが、今後は製品材料の企画販売も拡大していく。大手タイヤメーカーが全国各地に構える直営店全店のリニューアルで、当社のルーバーが採用された実績を、新たな販路開拓や経営基盤の強化にもつなげていく。

新国立競技場をはじめ木造建築への注目が高まっており、人工木建材市場もさらに拡大が見込まれる。強度アップ、不燃や除菌といった新たな性能の付加、地元産材の木粉を取り入れた人工木材の採用など、次なる課題に対して絶えず技術革新と進化を続ける。



人工木ウッドデッキ（特許第5441963号・第6263759号）の施工例



ルーバーとデッキの施工例



人工木の化粧材